

科目	単位	時間	履修学年	講師名
在宅看護援助論 I	1	30	2	非常勤講師
ねらい	在宅看護に必要な看護技術を学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1.療養者の日常生活を「生活行為」として総合的に捉える 必要な介助を見極めるための動作分析について考える コミュニケーションを学ぶ	講義 グループワーク		
2回目	1回目の復習 事例を通して活動制限のアセスメントと生活行為への支援を考える	グループワーク 講義		
3回目	在宅看護における呼吸管理	講義・グループワーク		
4回目	食生活、嚥下に関する在宅看護技術	講義・演習		
5回目	演習	講義		
6回目	おむつ交換、トランスファー、口腔ケア	演習		
7回目	認知機能のアセスメント	講義・グループワーク		
8回目	終末期のアセスメント、	講義・グループワーク		
9回目	疼痛緩和のアセスメント	講義		
10回目	褥瘡のアセスメント尿道カテーテル、ストーマ	講義		
11回目	経管栄養、在宅中心静脈栄養法（HPN）	講義		
12回目	在宅酸素療法（HOT）	講義		
13回目	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）、 在宅人工呼吸療法（HMV）、排痰法	講義 講義		
14.5回目 (45分)	まとめ	講義		
15回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（医学書院） ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術（メディカ出版）			
評価方法	筆記試験（1時間【45分間】：100点）			
備考				